

Kiyoshi Nakagami solo exhibition

中上清展－光の絵画

2023年5月26日(金)～6月12日(月)

12:00～17:00【会期中無休】 作家在廊日：5月26日(金)・27日(土)

略歴

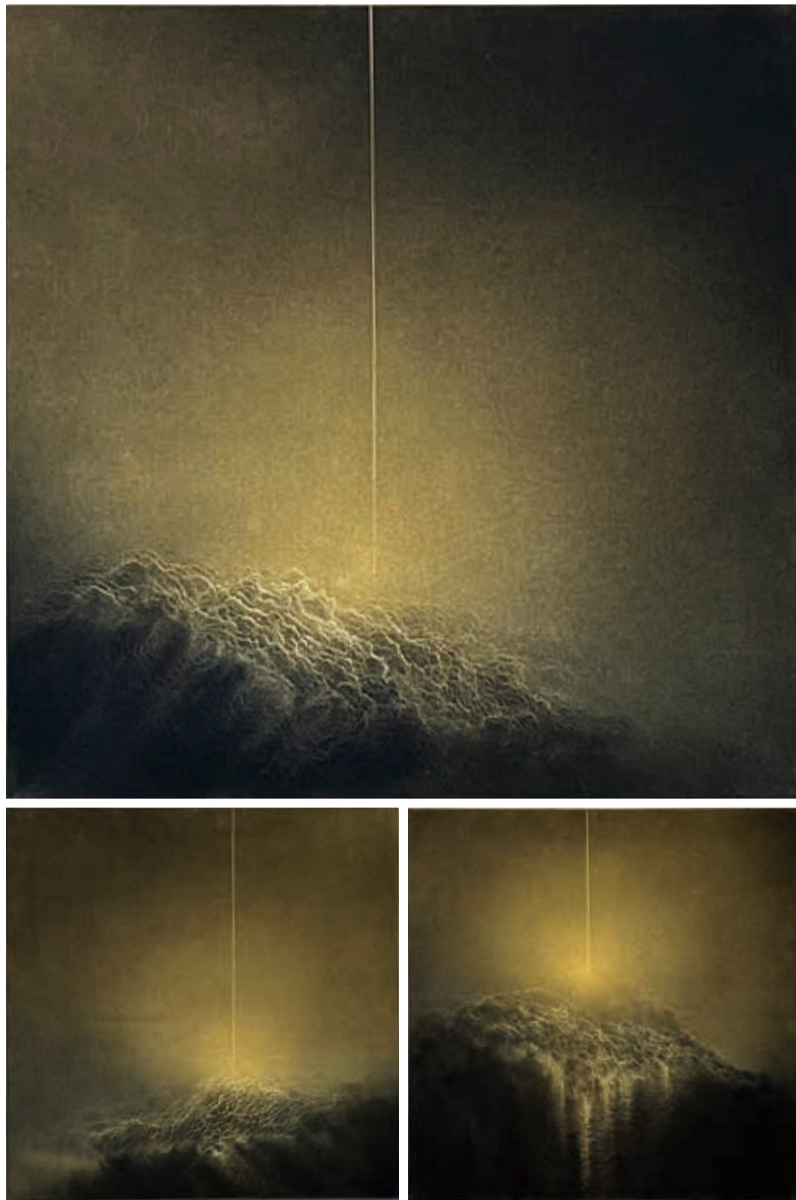
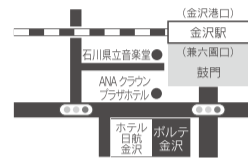
1949 静岡県生まれ
 主な個展
 1971 富士見町アトリエ／神奈
 1989 ヒノギャラリー／東京(91から2019まで)／東京
 1999 「さまざまな眼101 中上清展」
 かわさきBIM市民ギャラリー／神奈川
 2008 「中上清展－絵画から湧く光」
 神奈川県立近代美術館鎌倉／神奈川
 2012 「Epiphany」Galerie Richard / (パリ)、ニューヨーク
 2014 「中上清 展」カサヤの森現代美術館／横須賀
 2015 ガレリアフィナルテ／名古屋(18)
 2018 「Light from Afar Recent Work by Kiyoshi Nakagami」
 LewAllen Galleries / サンタフェ
 「Theophany」Galerie Richard New York / アメリカー2019
 2019 「La Beauté Sublime」Art Paris / (パリ)
 2020 「Light in Painting」Galerie Richard / ニューヨーク
 ガレリアフィナルテ／名古屋
 2021 ギャラリー・リシャール
 「中上清展 内覧－顕現」アート・玄羅／金沢
 2022 Expo Chicago ギャラリー・リシャール
 2023 Expo Chicago ギャラリー・リシャール

主なグループ展
 1972 「Exhibition Bゼミ」横浜市民ギャラリー／神奈川(73)
 1978 「スクラムの外 現前の距離」神奈川県民ホールギャラリー／神奈川
 1988 「神奈川アート・アニュアル」神奈川県民ホールギャラリー／神奈川
 1992 「現代美術への視点 形象のはざまに」
 東京国立近代美術館／東京、国立国際美術館／大阪
 1993 「現代絵画の－断面－「日本画」を越えて」東京都美術館／東京
 1995 「今日の日本画 第13回山種美術館賞展」山種美術館／東京
 1997 「日本現代美術展」国立現代美術館／韓国・ソウル
 2001 「第10回インド・トリエンナーレ」／インド・ニューデリー
 2004 「琳派 RINPA」東京国立近代美術館／東京
 「Art Cologne」Galerie Richard / ドイツ・ケルン
 「Art Rotterdam」Galerie Richard / オランダ・ロッテルダム
 「Art Beijing」ヒノ・ギャラリー／中国・北京
 2005 「アルス・ノーヴァー現代美術と工芸のはざまに」
 東京都現代美術館／東京
 「St. Art」Galerie Richard / フランス・ストラスブール
 2006 「日本×画展」横浜美術館／神奈川
 「Mineral II」Centre artistique de Verderonne
 / フランス・ヴェルドゥロンヌ
 2007 「Art Amsterdam」Galerie Richard / オランダ・アムステルダム
 「Arte Fiera」Galerie Richard / イタリア・ボローニャ
 2011 「Prolonging Pleasure」Galerie Richard / (パリ)
 「Pulse Miami」Galerie Richard / アメリカ・フロリダ州マイアミ
 2012 「横浜美術館コレクション展 2012年度 第3期」
 光をめぐる表現」横浜美術館／神奈川
 2013 「Context Art Miami」Galerie Richard / アメリカ・フロリダ州マイアミ
 2015 「モダン百花繚乱(大分世界美術館)」大分県立美術館／大分
 「神々の黄昏」大分県立美術館／大分
 2016 「琳派降臨 近世・近代・現代の「琳派コード」を巡って」
 京都市立美術館／京都
 2019 「Rainer Gross, Kim Young-Hun, Kiyoshi Nakagami」
 Galerie Richard / (パリ)
 2020 アート・パリ ギャラリー・リシャール
 2021 アート・パリ ギャラリー・リシャール

○ パブリックコレクション
 東京国立近代美術館／東京
 神奈川県民ホールギャラリー／神奈川
 愛知県美術館／愛知
 神奈川県立近代美術館／神奈川
 横浜美術館／神奈川

アート
 玄羅
 gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ボルテ 金沢3F
 TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]
 E-mail genraart@ozzio.jp
 Web http://genraart.com



中上清 — 光の絵画

山の頂や、雲の切れ間、大瀑布の向こうから光が差ってきて、闇に包まれたこの世界が照らし出されてくる—そんな神秘的な瞬間に遭遇したかのような厳粛な趣きを、中上清の絵画は温えている。それは、創世記の天地創造の物語を思い起こさせたり、神仏がこの世に今まさに降臨しようとしている雰囲気を感じさせもする。

中上の絵画世界の神々しさ—それは、時代も国も超えて、たとえば19世紀ドイツのフリードリヒが描いた風景の崇高性や、10～11世紀北宋の范寛や郭熙が描いた山水の靈氣と結び付く。

しかしながら中上は、何らかの自然の光景を抽象的に表現しようとしているのでは、まったくない。彼が一心に描こうとしているのは、「絵画の光」(山梨俊夫)である。絵の内部の計り知れない奥からこちらに向かって発せられてくる光。その光を中上が捉え、描き上げた時、物理的にはただの一枚の平面に過ぎない彼の絵は、気の遠くなるような果てしない深みを備える。

中上の絵画を観るのに、変な構えはいらない。大切なのは、その神秘に立ち会うこと。その時、中上が見、描いた絵画の光が、私たちの心の中にも差し込んでくる。その光は私たちの内までをも照らしてゆき、そうして私たち自身も、中上の絵画の神秘の一部となる。

アート
 玄羅
 gen ra

大島 徹也(多摩美術大学教授／美術史)